



自衛隊栃木地方協力本部

学校になぜ自衛隊車両？ ～黒羽高校自衛隊説明会～



楽しく会話しながらの自衛隊説明

栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田1陸尉）は、6月6日（金）、栃木県立黒羽高等学校において自衛隊広報活動を実施した。

当日は、校内において73式小型トラックを展示し、生徒に対して自衛隊の役割や任務、装備の概要、採用制度などについて説明を行った。

展示された車両には、多くの生徒が関心を示し、実際に車両に乗車するなどして、整備や機能についての説明を熱心に聞く様子が見られた。隊員は、生徒からの質問に対して一つひとつ丁寧に対応し、自衛隊の業務内容や隊員としての生活について詳しく説明した。特に、3年生の中には自衛隊を進路の選択肢として真剣に検討している生徒もあり、採用試験の流れや訓練内容、将来のキャリアパスに関する具体的な質問が多く寄せられた。これに対しても詳細な説明を行い、生徒の理解を深めることができた。

大田原地域事務所は、「今後も、説明会などを通じて自衛隊の魅力を発信していく」としている。



みんなで敬礼！



1/2tトラック試乗を楽しむ教諭と学生達の様子



国際医療福祉大学防災教育 ～命を守る知識と技術を学ぶ！～



大田原地域事務所長の防災講話

栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田1陸尉）は、6月7日（土）、国際医療福祉大学大田原キャンパスにおいて防災教育を実施した。

参加したのは同校の学生約20名で、防災に関する講話及び応急救護に関する実技指導を行い、防災講話では、自然災害発生時における自助・共助の重要性や、日頃の備えの必要性について説明した。その後の実習では、日常の身近な物品を活用した応急救護として、毛布と物干し竿等を活用した簡易担架の作成及びタオルを活用した止血の方法など、道具を使用しながら体験し、災害時における応急救護の重要性とその実用性を学んだ。

大田原地域事務所は、「今後も、災害に対する備えと応急救護能力を高めて行けるよう教育を普及していく」としている。



簡易担架作成を体験！



骨折時の処置も習得！



学生と集合写真